

天然芝と人工芝のハイブリッドシステム プレイマスター

株式会社パルカ

〒171-0044 東京都豊島区千早4-38-11
TEL 03-5917-4311 FAX 03-5917-4312
URL <https://www.paruka.jp/>
mail 上記ホームページより問い合わせ



施工例



製品写真 「ハイブリッド芝ロール」

概要

ターケットスポーツ社(Trakett Sports)が開発した「プレイマスター」は、天然芝を人工芝システムで補強しフィールドに高い持続可能性をもたらす、最新のハイブリッドシステムである。人工基布と人工芝テクノロジーが生み出す最適な栽培環境を作り、天然芝がしっかりと自然土に根付き成長する。専用ファームで養生した芝土をロール状に巻き取り現場へ直送するスピード施工の他、現地でハイブリッド芝土を養生する方法もあり、良好なハイブリッドサーフェイスが実現できる。



①基布 ②珪砂充填材 ③天然芝の根
④人工ファイバー ⑤トップの土壌 ⑥天然芝

基布は、非吸水性で排水機能と通気性が高く、天然芝にとって最適な育成環境を生成している。芝生発育への悪影響や植物毒性が一切ない。



●非吸水性



●天然芝にとってはベストな育成環境

人工ファイバーは、最適な復元力と耐久性の自社生産ファイバーを使用し、高水準のタフティングによる固定を行っている。



特長

1. 迅速な敷設と即時プレーが可能

異なるサブベース(基部)との適合性が高く、サブベースを維持したまま、既存ピッチの刷新・改修が数日で可能。ハイブリッド芝ロールの敷設後は即プレーが可能。

2. 多目的スタジアムに最適

損傷箇所も短時間での交換が容易であり、さまざまなスポーツやイベントに対応が可能。

3. メンテナンス費用の削減と品質維持のしやすさ

厳選された最適な素材の使用により、サーフェイスの安定性による早い回復が可能。従来芝生よりも使用中の損傷が少なく、品質管理と安全性の維持が容易。

施工

●スピード施工

ハイブリッド芝草は、専用芝生ファームで栽培され、芝生ロールをスタジアムへ敷設する。その後は、即プレーが可能。



●現場施工

プレイマスターシステムを直接ピッチに植え付け、天然芝が十分成長してからプレーが可能(30~90日)。スピード施工に比べ、芝が強くなつ安価にできる。



●再利用

本システムは移動が可能で、別のスポーツ用サーフェイスにて再利用することができる。

使用実績

- ・文京区目白台運動場、佐賀県明朗幼稚園、東京ドームシティ、個人邸庭など。
- ・アムステルダムスタジアム(オランダ)、サン・マメススタジアム(スペイン)、ロドニーパレードスタジアム(イギリス)、Enceスタディオ(ドイツ)他。